

# 「北前船」で県域を越えたストーリー (高砂市)

活用資源	町家、歴史、産業
取組主体	高砂市

## 概要

- 高砂市高砂地区は、江戸時代、北海道・東北・北陸と西日本を結んだ西廻り航路を行き交う「北前船」の寄港地で、港町や海運などに関連した遺構やまちなみが残る地域です。西廻り航路は経済の大動脈で、北前船により各地に繁栄がもたらされました。こうしたことから、高砂地区など日本海や瀬戸内海沿岸にある北前船の寄港地や船主集落は、16道府県にまたがる壮大なストーリーとして日本遺産に認定されています。
- 兵庫県内では神戸市・高砂市・赤穂市・洲本市・姫路市・たつの市・新温泉町が認定されています。そのうち、高砂市ではストーリーを構成する資源として、以下のものが位置づけられています。

### ① 工楽松右衛門旧宅

北前船にも使われた帆布の製造法発明、海運業、港湾改修などを行った工楽松右衛門の旧宅で、舟板塀、井戸、炊事場など当時の生活の痕跡を残しています。現在は、地域の歴史文化を発信する拠点として一般公開されています。

### ② 高砂地区のまちなみ

北前船も寄港した港町で、町家・社寺・近代建築等が建ちならんでおり、兵庫県歴史的景観形成地区に指定されています。

### ③ 高砂堀川遺跡、常夜灯

北前船が寄港した高砂港で、兵庫県指定史跡に指定された堀川護岸の石垣、舟の積荷を揚げ降ろしする雁木（石段）などの船着場の遺構、船乗りにも位置を知らせた高砂神社の常夜灯が残されています。

## ポイント

ココが  
コッ!

- 高砂地区の兵庫県歴史的景観形成地区指定や工楽松右衛門旧宅の改修など、まちなみを守り、資源をみがく地道な活動が、県域を越えた日本遺産の認定への後押しともなり、地区のブランディングにつながりました。
- 日本遺産に認定された県内7市町が協力し、県民イベント「ふれあいの祭典」で「北前船寄港地市町観光・物産コーナー」を共同で出展、同時期のイベント開催など、ストーリー化されることで深みのある連携や取組となり、資源としての価値が高まっています。
- まちなみや工楽松右衛門旧宅など日本遺産のストーリーを構成する資源だけでなく、地区周辺の商店街や寺社も含めたまち歩きイベントを開催することで、認定された資源の枠を超えて連携が生まれ、さらなる賑わいづくりが実現しています。



工楽松右衛門旧宅

この事例をもっと知りたい場合

高砂市産業振興課



TEL 079-443-9030

HP (一財) 高砂市観光交流ビューロー  
<http://www.takasago-tavb.com/sightseeing/>